



たんぽぽであそぼう！

ひまわりようちえん

あちらこちらでたんぽぽが咲き乱れ、緑の芝生に黄色が映えていますね！
たんぽぽでの遊び方を紹介します。ぜひたくさん、試してみてくださいね！

<p>しゃぼんだま</p> <p>茎がストロー代わりに！何本か束ねたり、先を十字に割いて、水につけてクルンとなったものだと、大きなシャボン玉が出来ます！（口にくわえると少し苦いですが、それが春の味ですね）</p> 	<p>おりょうり①</p> <p><u>たんぽぽティー</u>…花の部分を熱湯に入れると、きれいな黄色に！砂糖やはちみつを入れても。入れすぎるとただの甘いお湯になるので注意！ <u>天ぷら</u>…花・葉の部分を天ぷらに！花の天ぷら、作りました。美味しかったです！</p>	<p>わたげとばし</p> <p>綿毛をみつけ、フーッと息をふきかけるだけ。この時の顔が、かわいいんですよ！たくさん摘んで、綿毛を持ったままクルッと一回転したり、魔法の杖を振るようにすると素敵です！よく開いた綿毛が飛ばしやすいですよ。</p>
<p>おはなをプレゼント</p> <p>お父さん、お母さん、大好きな人に20本ずつたんぽぽを摘んで、プレゼントしよう！20まで数えられるかな？10本でもいいね。</p> 	<p>ままごと</p> <p>毎年、園庭で“たんぽぽケーキ”や葉っぱも入れた“たんぽぽサラダ”をごちそうになっていました。たんぽぽで、どんなご馳走ができるかな？</p>	<p>おりょうり②</p> <p><u>サラダ</u>…食べなくても、そのまま飾って彩りに！ <u>ホットケーキ</u>…花びらをちぎって、生地に混ぜるだけ。色も味もわかりにくいですが、子どもたちは、たんぽぽを食べた気持ちになりますよ。</p>
<p>ちいさなたんぽぽばたけ</p> <p>園庭にあるベンチの穴に、たんぽぽを刺して遊んでいた子どもたち。ステロールトレイに鉛筆で穴を開け、たんぽぽを通してみました！たくさん数を数えられるお友だちは、いくつか数えてみよう！写真のたんぽぽは、100本くらいあるよ！</p> 	<p>おりょうり③</p> <p><u>ゼリー</u>…たんぽぽが入っているのが分かるように、色の薄いゼリーやミルクゼリーを作り、固まる前にちぎった花びらを飾り付け。ヨーグルトやアイスクリームのトッピングとして飾るだけでも！乾いた手でする方が、やりやすいです。</p> 	<p>たんぽぽからわたげへ</p> <p>たんぽぽを摘んで、小さな花瓶にさしておきましょう。何日で綿毛になるかな？しおれてくるので、茎の中に園芸用などの針金を通しておくと、綿毛になってもかわいい飾りに！</p> 



たんぽぽってたのしいな♡

たんぽぽであそぼう!

はるになるとたんぽぽはきいろのかわいらしいはなをさかせます。こうえんやみちばたでみかけたら、たんぽぽをつかってあそんでみましょう。



わたげとぼし

よくかわいたわたげをつよくふいてみよう! わたげはどこまでとんでいくな?



うでわ

ゆびでくきをたてにさきます。

さいたくきをうでにまいて、さきをむすぶとできあがり!



ふえ

くきのさきをかたほうだけつぶします。

くきをひとさしゆびのながさにきります。



つぶしたところをくわえてつよくふくとおとがでるよ。

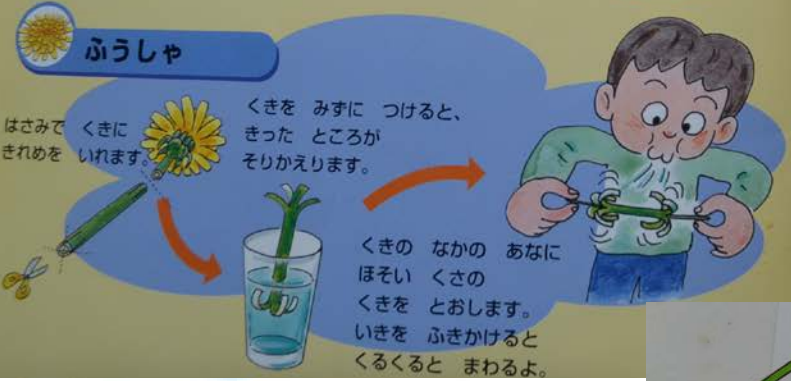


ふうしゃ

はさみでくきにきれめをいれます。

くきをみずにつけると、きったところがそりかえります。

くきのなかのあなにほそいくさのくきをとおします。いきをふきかけるとくるくとまわるよ。

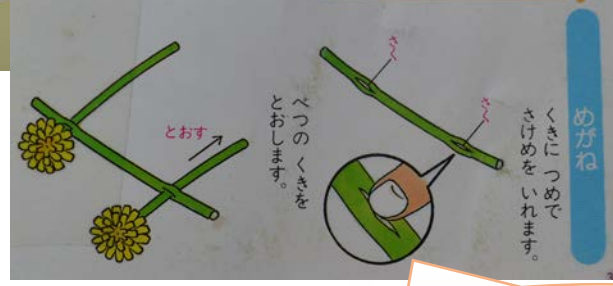


たまふき

くきのさきのかたほうにきれめをいれます。

くきをみずにつけます。

かみをちいさくまるめてくきがひらいたほうにのせ、はんたいがわからそっとふいてうかせます。



このやりかたで、ネックレスもできるよ。はなのないほうにあなをあけ、どんどんつなげてみよう。

- ❁ ふえはむずかしかったけれど、5ほんめで、「ブー」となったよ。
- ❁ おにいちゃん、おねえちゃんたちも、ちょうせんしてみてね。
- ❁ たんぽぽめがねをかけたしゃしんをぜひおくらせてね!

